

令和7年度第2回袖ヶ浦市国民健康保険運営協議会

1 開催日時 令和7年8月20日（水） 午後1時30分開会

2 開催場所 袖ヶ浦市役所 会議室3-1（災害対策室）

3 出席委員

会 長	安枝 玲司	委 員	高橋 美緒
会長代理	杉浦 弘樹	委 員	山門 ひとみ
委 員	東 昌幸	委 員	畑 弘和
委 員	内藤 恵子	委 員	中村 武仁
委 員	牧野 喜美代	委 員	佐久間 貴章
委 員	保坂 勝美	委 員	藤井 希和

（欠席委員）

委 員	栗林 典代
-----	-------

4 出席職員

市民子育て部 部長	加藤 寿起	市民子育て部 次長	齋藤 智宏
保険年金課 副参事	今村 豪	保険年金課 副課長	長谷川 雅史
保険年金課 国保資格給付班	小泉 愛瀬		

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5 人	傍聴人数	0 人
------	-----	------	-----

6 議 題

(1) 令和6年度袖ヶ浦市国民健康保険特別会計決算（案）について

7 議 事

【議 事】

- 議長 それでは、規定により、本日の議長を務めさせていただきます。
- なお、本日の会議録につきましては、前回と同様に、発言者の氏名は伏せて、市のホームページに公開してまいりますので、ご了承願います。
- それでは、本日の議題に入らせていただきます。
- 本日の議題は1件で、報告案件となります。
- では、議題1「令和6年度袖ヶ浦市国民健康保険特別会計決算（案）について」を議題といたします。
- 事務局の説明を求めます。

【議 題 1】

- 事務局 議題1「令和6年度袖ヶ浦市国民健康保険特別会計決算（案）について」、配布資料により説明。

【質 疑】

- 委員 1点目6ページについて、昨年と比べて、第三者納付金と一般被保険者返納金が大幅に増えているんですが、追加調査をやったとか、状況が変わったとか要因があれば教えてください。
- 事務局 まず第三者納付についてですが、これは交通事故等第三者（加害者）の不法行為によって生じた保険給付について、保険者である市町村が立て替えた医療費等を加害者に対して損害賠償請求するものですが、令和6年度において、7月に824万円の入金がありましたので、前年度より金額が増加しております。
- また一般被保険者返納金についてですが、これは保険給付を受けた後に遡り国民健康保険の資格を喪失した方等から不当利得相当額の返還を受け入れたものとなります。その不当利得が令和5年度より270万円程度増加したことによるものです。
- 委員 8ページの歳出の保健事業の特定健康診査について、備考欄に受診特定健診の受診率49.8%と記載されています。去年より若干上がっているということでいい傾向だとは思いますが、令和6年度の目標値が、

55%で達成できていません。たしか10年ぐらい前は50%を超えて、県内でも1, 2位だったと思います。

第3期データヘルス計画の中では、令和7年以降は国の目標値である60%を目標にしているので、なかなか厳しい状況かなと思っています。

そのような中で、今後目標値に対する見込みと何か対策等があれば教えてください。

事務局 委員のおっしゃったとおり、目標値には届いていないですが、令和5年度受診率は48.4%で県内4位となっております。

受診率向上の対策ですが、令和6年度において自宅訪問による受診勧奨を行い、人工知能を活用した受診勧奨通知を送付しております。

受診勧奨通知につきましては、被保険者の受診履歴から7パターンに分類して、受診を促す通知を行っております。

また自宅訪問については、60歳以上を中心に、直接被保険者に会い受診勧奨を行っているところです。

受診率向上のため、集団健診時に肺がん検診に加え、今年度から大腸がん検診も同時実施いたします。

今後の見込みとしては、国が目標とする60%まで高めることは少し難しいとは思いますが、医療費の削減につながる特定健診の受診率向上のための取組みを継続していきたいと考えております。

委員 今回のことに関連して、来年2月の予算の時期では遅いので、昨年もこの決算時期に話しましたが、健康診査の助成すなわち人間ドックの受診への補助を上げないかと質問させていただきました。というのは、昨年の大幅な国保税の按分率の改定により、今まで近隣市で一番低かった保険税が、いきなりトップクラスになったにもかかわらず、給付の方は依然最低です。

負担ばかり求めるのではなく、その見返りとして給付も上げるよう検討してほしいと発言させていただきました。

人間ドックの利用状況を見ると、6年度が669人で5年度より8人減っている状況です。利用者を増やすことで、先ほど指摘した特定健診の受診率も向上させることができるものと考えられます。是非、近隣市と同額程度の助成額となるようにご検討をお願いします。

事務局 今までは人間ドックの助成額は、近隣市と比較して低くなっております。

して、その理由として、保険税が安いからという回答をさせていただいていたところですが、今は保険税も上がってきている状況で、助成額を引き上げないかというご指摘だと思います。

現在市の財政も厳しい状況でございまして、適正な財政運営という中で、この人間ドックの助成事業をどこまで幅広く期待に応えられるかという、非常に厳しい状況です。

ただ市としても、検討課題であると捉えていますので、今後財政課等の協議の中で継続して話はしていこうと考えておりますが、厳しい状況であるということとはご理解いただければと思います。

委員 先ほど説明があった運営状況にもありましたが、国保加入世帯の62，3％が所得200万円以下ということで、加入者も非常に厳しい経済状況で、特定健診は受けてもらわないといけないものですから、財政が厳しいのもわかりますけれども、市の姿勢として示していただければと思います。

【閉 会】

午後2時30分閉会